

・網野庁舎跡地活用構想検討会議（4回）で具体的なニーズ把握とそれに基づく跡地活用についての検討が行われました。

＜主な意見＞

	NO.	内容
交 流	1	子ども達が楽しく安心して過ごせ、多世代の交流ができる施設。
	2	体育館、図書館、地場産センターなどをうまく連結させ、皆がワクワクして大勢の方が集まれる場所にできたら。
	3	誰でも集えるということが大切。子供にとっても高齢者との触れ合いは大切。
	4	お母さん達が集えるコーナーがあるのは素晴らしい。
	5	子どもがやりたい、大人がやりたいを叶えてもらえるスペース、一緒にやろうと言ってくれるスペースになれば。（roots：京丹後市未来チャレンジ交流センター のような）
	6	若者のアイデアを高齢者がサポートするとか、高校生が意見を言っても恥ずかしくない空気づくり。
	7	あみうぼに参加してくれた学生たちの想いが完成した後も広がって話し合えるようなroots のような部活帰りに立ち寄れる場所が常設であれば。夜の町を明るくする意味でもいいと思う。
	8	施設の稼働率を議論する上で、利用ターゲットが地域住民だけなのか、移住者であるとか外部の方々に網野に来た人が自由に使えるとかある中で、工芸繊維大学のキャンパスは各大学の学生が自由に使えるようになっているので、そのように地域外の学生が利用できる施設もいい。
	9	京丹後市で取り組んでいる「新たな地域コミュニティ」づくりの課題研究が出来るよう地域の方が集まれる、網野町の中央公民館のような場所になれば。
	10	男女が気軽に集えるような場所。会話の場であるとかイベントが出来る場所。それをサポートしていける場所があれば。
	11	仕事生まれる、繋がる場所。「起点」という意味でいい場所だと思う。コロナの影響で働き方も変わってきている。柔軟な形で起業する若者に役立ててもらえる場所に。
	12	若者や移住者のチャレンジの場を、建物の外でコンテナハウスやキッチンカーといった形で利用できたら。
	13	学生の考えを具現化できる建屋にするべき。実際に店を設けて自分たちが作ったものを売れるような機会作りが出来れば。
	14	気軽に足を運んでもらえるような居心地のいい場所を作っていかなければいけない。
	15	旧網野幼稚園も構想に盛り込めれば、子ども向けの施設は旧網野幼稚園といった使い分けができるかと思う。
	16	今回の構想のメインは人の繋がりをいかに持たせていくかだと思う。
	17	「居場所」というキーワードが欲しい。「職場や学校」でもない、「3 番目の居場所」がどんどん減っている。「ここに居ていいんだ」、「居たいと思う」というような居場所という言葉がどこかに入れるといいのではないか。
	18	パソコンが使えない人達を指導してもらえるような場所があったらいいと思う。

R3年度「京丹後市網野庁舎跡地活用基本構想」策定時の主な意見

	NO.	内容
施設整備	19	子育て、母子交流スペースは、おもちゃや絵本を置くことを考えて広くとるべき。
	20	子育て、母子交流スペースから芝生広場がしっかり見えるような配置に（兄弟の様子が分かるように）
	21	オープンスペースを作って待ち合わせ場所や休憩場所等の多様な使い方をできるようにする。
	22	スクリーン、プロジェクターを完備した講座・集会室を作ってはどうか（30～40 人規模）
	23	音楽スタジオを完備（防音、音響設備）してはどうか。練習の場所として使ってもらい、発表の場所をアミティとすることで相互利用も可能。
	24	コンテナハウスの案をイメージ図に入れてもらえれば。
	25	遊具を設置すると錆びたり問題がでてる。屋根があり避暑や雨避けが出来る中で、遊具でなくても砂場や小山があれば小さい子が遊べるのではないか。（屋根付き遊具だけでなく、砂場等と例示）
	26	スタジオ設備について、鏡があればダンス練習にも使えるので、使いたい人が増えるのではと思う。（壁面鏡を例示）
	27	公園（芝生広場）については、メイン通りに面していた方が、人通りが多いので安全。
	28	小学生が学習の一環で、展望台から古墳を見て歴史について学んでいただけたら素晴らしい。
	29	2 階の展望台から前方後円墳を眺められるのは素晴らしい。
	30	前方後円墳の形はインパクトがある。具体的な建築の段階に入ったときに、たくさんの方の意見や想いが少しでも反映された建物になってほしい。
	31	施設は古墳の形にとらわれなくても、歴史が学べるようなものが施設の中にあれば。
	32	使い勝手を考えると古墳を模した形の施設は難しいと思う。それを補う意味で、屋上に展望台を設置して、写真撮影の場所にしてもらえれば、銚子山古墳の知名度も上がるのではないか。
	33	古墳の形を模したインパクトのある建物があってもいいのではないか。この建物の案があったからこそ、たくさんの意見や想いがこれまで出てきたと思う
	34	「子育てスペースと母親交流スペース」は、ジェンダーレスを考慮して「子育て交流スペース」だけでよい。
	35	建物の形は大事であり、行ってみたいという感情が湧くようなものがよい（古墳を模したもの）
	36	古墳の形の建物で部屋を区切るとなると、使い勝手が悪そう。少しでも古墳をイメージできる工夫を考えていただけたら。
	37	古墳を模したような形のなかで、アスレチックなど、何か遊べるような仕掛けができないか。
	38	建物については、バスなどの交通アクセスの面と日照の面を考えると市道網野下岡線に対して平行に建てる方がいい。
	39	防災上のことを考えると、災害時の炊き出しなどを考えれば今回設置させる遊具やベンチにも防災の観点を入れてはどうか。
	40	広場がある以上、トイレは休みの日でも使えるように建物の外から使える工夫があれば。
	41	盛り込みたい内容をすべてこの施設だけで補おうとしていると感じる。子ども達が集まれるスペースは建物でないとできないわけではない。充実した公園でも出来ると思うし、建物に全部の機能を満たそうとすることは止めた方がいいのでは。もっと要素を絞って、特徴のあるものを作っていけばいい。
	42	網野らしさを活かした施設の特徴を入れるべき。
	43	この施設が地域交通のプラットフォーム的な場所になれば、さらに良い地域づくりが出来る。

R3年度「京丹後市網野庁舎跡地活用基本構想」策定時の主な意見

	NO.	内容
賑わい	44	若い世代にも来てもらえるよう、楽しいことを発信していけたら。
	45	バスケットコートや公園など、みんなが集まって楽しめる場所にできたら。
	46	日頃行っている活動を発表する場所が少ない。小規模な形でも発表の場が出来ればうれしい。フリースペースといった形で柔軟な使用ができるようにしてもらいたい。
	47	オンラインでのイベントが増えている中で、小さなグループだけでも講演会や動画が見ることができるスペースがあれば。
	48	個室でなくても周りが気にならない程度で仕事ができるスペースがあれば。
	49	兵庫県にある植村直己冒険館の子ども用のボルダリングや木で出来たおもちゃが素晴らしかった。島津連合区でも木材を使ったおもちゃで遊んでもらう取り組みをされているので、そういった活動をこの会議にも教えていただきたい。雨が降っても子ども達が遊べる場ができればいい。
	50	こどもやお年寄り、車で移動しにくい人たちが集まれる場所となれば、峰山に出来る増築棟整備とは内容は重ならないと思う。
	51	現在アミティで出店している朝市は、新しい建物が出来るのであれば、移設したほうが賑わいも生まれるのではないかなと思う。
	52	他にはないから足を運んでもらえるような何か、他と同じではだめ。子ども、お年寄り、若者がもう1回行ってみたいなと思えるような場所にして、網野に足を運んでもらうのが大事ではないか。
	53	網野町では料理教室や子ども食堂ができるような場所がない。子ども達も自転車で来られるような立地なので、勉強会や料理講習ができるようなオープンスペースのキッチンがあればいいと思う。また災害が起きたときに炊き出しなどをするのにもとてもいい場所。
	54	旧網野幼稚園と今回の施設を渡り廊下で繋ぐのもいいのでは。
運営・管理	55	近隣の施設にはそれぞれの役割がある。今回の施設はそれらを補完するような形で使われてくれればいいと思う。
	56	施設の運営にはお金がかかるため、少しでもお金が生まれるような施設の運用の仕方を。
	57	運営という面をしっかりと考えていかないといけない。費用的なことも含め、議論の中に含めてほしい。
	58	放課後児童クラブのような、子ども達が自由に集まって、スポーツや遊びを通して教育的なことができる場所であれば。そう考えると、施設を運営する人間が常駐しなければいけなく、その役目が誰になるのかも考えるべき。
	59	運営管理についてある程度決めておくべきなのは。サービスを提供する人は誰なのか。スペースがあるだけなのか、運営スタッフが常駐するのか分からない。
	60	施設規模から考えてかなりの管理費用が想定される。持続的に運営していく仕掛けづくりをどう考えるかが大切だと思う。
	61	区長連絡協議会のほうでも、運営に関しては市と議論をしていかなければいけないと思う。
機運醸成	62	今ある公園ですら遊具の維持管理が難しい。新しい遊具を整備してどこまで維持できるか。
	63	施設ができる前から跡地を使ってイベントをしてみるなど、町の人達が跡地活用について知って、考える機会を作るべき。実際に使ってみると問題点が見えてくる。
	64	提言書の中では、多機能に使えるスペースも多く設けている。施設ができる前から文化体育団体、子育て世代が真剣に検討していけば、議論が進みやすくなると思う。
	65	あみうぶに参加していない方の感性や想いを肉付けしていければ。
観光	66	提言書を作成した際に調査した「京丹後市のまちづくりに関するアンケート」で網野町の中学3年生147人からの回答の結果、10人に6人以上が社会人になったら京丹後市に住み続けたくないと回答している。この結果を受けて、小さい時から繋がりがりや関わりを育てていけば、将来に向けていい結果になるのではと思います、提言の中のコンセプト「繋がる」を決めた。
	67	観光で魅力ある町を発信する場所でありたい。Eバイク、大学生の合宿など、対外的な関係人口、交流人口をこの施設から発信して増やせていけたら。
	68	網野の地域は、観光のメイン拠点だと思うので、その中で何かチャレンジできるようなきっかけ作りにも今回の場所がなればいい。
	69	観光で丹後をどう知ってもらうかは、地域の人はどう迎えてくれるか、どう繋がっていくかということが大事。ぜひそういう場があれば。
	70	今回の構想が全体的に古墳をテーマにして作っていくのであれば、古墳の町としてもう少しコンテンツを入れていく必要があると感じる。今回の施設だけが古墳を模しているだけでは、町としての統一性が取れなくなってくる不安がある。
	71	これまで活かされてなかった古墳をこの機会に形だけではなくて中身もあるというPRの仕方が大切。
	72	京丹後市にある文化施設を活用したツアーなど、市の文化に触れてもらう形を考えていければ。

- 整備する施設を「（仮称）市民交流広場」と「（仮称）市民交流センター」とし、施設の機能・設備については、今後進める基本計画・基本設計の中で、建築等の専門的知見、利用者の利便性や周辺施設との連携、整備面積、整備費用等を総合的に勘案し、各機能・設備を決定していくこととする。

＜施設の整備イメージ＞

【屋外・屋内共通】

- 誰でも集える『第三の居場所』（自宅、職場や学校から離れて気軽に集える、交流ができる居場所）

【屋外】

- あみの広場
『子ども“遊び”スペース』
『スポーツ“エンジョイ”スペース』
『こことからだの“くつろぎ快適”スペース』

【屋内】

- 親子同士楽しめる『子育て交流スペース』
- いろいろな活動や打合せができる『コミュニティルーム』
- パソコンを持って気軽に寄れる『ワーキングカフェ』（新しい働き方にも対応し、利用者同士のコミュニケーションも生まれる）
- みんながチャレンジする『あみのスペース』（出会い、交流、音楽、ダンスなどみんなが自由に使える交流・チャレンジスペース）
- みんなで使える『あみのキッチン』（料理教室からご飯会など食を通した交流スペース）
- まちの魅力と歴史を発信『あみのコンシェルジュ』

＜施設・設備の検討例＞

①（仮称）市民交流広場

視点・機能	目的	施設・設備の検討例
交流・賑わい	子育て世代や多世代の交流を図り、地域子ども達が安心して遊べる場、また、来る人がワクワクして集える場の創出	・スポーツ施設（3X3 バasketコート・ポルダリング・スケートボード） ・遊具施設（屋根付き、砂場、アスレチック等） ・芝生広場（ベンチ、夜間照明） ・緑化スペース（桜、紅葉） ・屋外ステージ ・EV充電スペース ・朝市スペース ・Wi-Fi設備
チャレンジ	アイデアの実現に向けて実験・実証ができる場であり、チャレンジしたい人とサポートしてくれる人を繋げる場の創出	・コンテナハウス（キッチンカースペース）
観光	市外の人にも気軽に来てもらえる場にすることで、交流人口、関係人口を創出	・駐車場、駐輪場 ・バスターミナル

②（仮称）市民交流センター

視点・機能	目的	施設・設備の検討例
交流 賑わい チャレンジ	子育て世代や多世代の交流を図り、住民自らが地域について話し合える場等、多様な使い方ができる場を創出 また、アイデアの実現に向けて実験・実証ができる場であり、チャレンジしたい人とサポートしてくれる人を繋げる場を創出	・子育て交流スペース ・交流スペース（憩いのスペース） ・ITスペース（プログラミング学習、ワーキング） ・スタジオ（防音、音響設備、壁面鏡等） ・キッチン ・フリースペース ・網野版roots ・講座、集会室
観光 歴史	魅力あるまちを発信する場であり、網野銚子山古墳をはじめとしたまちの誇る地域資源や歴史文化を発信する場を創出。	・網野銚子山古墳を望む展望台 ・歴史展示スペース ・Eバイク、レンタサイクル ・観光ガイド
運営 コーディネート	集い交流する場として市民の参画による運営を目指すとともに、積極的な交流や連携を促す。	・ユニバーサルデザインに配慮した多目的トイレ等 ・エレベーター、Wi-Fi設備 ・カフェ・物販等公募（自動販売機も含む） ・管理事務室の設置

・ワークショップ（2回）、ポスター展を実施し、意見を聴取しました。

<主な意見>

○第1回ワークショップ

【テーマ1】 基本構想・プロポーザル案について改めて何を思う？ 網野庁舎跡地はどうなるとよい？

【テーマ2】 網野庁舎跡地に、どんなコンテンツがあると持続的に地域活性化する？

■貸し室、コミュニティセンター機能

- ・アミティより安く貸し室を使用したい
- ◎網野に文化活動ができる場がない（ダンス、音楽→子ども向け）
→柔軟に間仕切り。（防音をどうするか。）
- ・カルチャースクール（ダンス、太極拳）
→子ども向け
- ・ワーキングスペース
- ・合唱、楽器、太極拳、三味線などの教室
- ・油絵、軽音楽、サークル活動
- ・文化講習センター
- ・フリースクール
- ・ホール
- ・少しの待合場所
- ・集の場。特に冬は薪ストーブのある空間
- ・文化施設が良い。みんなが集まる
- ・コンサート、ダンス、楽器の講習、カルチャー教室ができるスタジオ

■飲食・購買

- ・軽食程度のカフェ
→カフェはアミティのシルクがある
- ・大屋根を設け屋台が常駐
- ・屋台、自販機でも良いかもしれない
- ・カニ、魚の販売
- ・食堂・レストラン

■新しい施設でしたいこと、欲しい設備

- ・大屋根（大テント）、夏は日除け、雨よけ
- ・網野は風が強いので、建物は防風
- ・「にぎわい」の意味。電気の灯った施設
- ・芝生広場
- ・絹織物（ちりめん）体験・工房
- ・手機の工房
- ・美術館のようなものはいらない
- ・サウナ
- ・サウナは市内の温泉を利用すれば良い
- ・サーフィン、SUP いらない

■周辺施設、街との連携

- ・今周囲にある施設と同じようなものを作っても良くない
- ・建物を無理してつくる必要があるのか。既存の建物をうまく改修して使えないか
- ・周辺施設（体育館）との連携
- ・バーができたり、提灯屋ができたり、面白い動きが網野で起きているのでうまく活かせるように
→網野ならではの施設
- ・ショップ・アミティがある
- ・スポーツ関連の施設は現体育館に集約。
- ・旧幼稚園の活用。託児所、宅老所として活用
- ・網野神社の児重遊園地、愛宕山を利用して
- ・今のある施設の活用を考える
- ・今の設備をいかに利用するかを考えた方が良い
- ・周辺施設との関連。（幼稚園、神社、体育館、温泉など） ないものを造れば

■子ども

- ・子どもがいかに関わってもらえるか
- ・雨の日でも遊んでもらうようにする
- ・放課後に遊べる場所
- ・子どものサードプレイス
- ・子どもが遊べる場所と母親同士の交流
- ・子どもが外に出るきっかけ。創造的な活動。
- ・いつも綺麗な砂場
- ・子どもの屋内遊び施設。屋外はシーサイドパークがあるのでは
- ・屋内の遊び場。外は八丁浜がある
- ・旧幼稚園の活用。園庭も含め、子どもが集う場所

■地域拠点、観光拠点

- ・網野の魅力を発信する施設
- ・歴史文化を発信する施設
- ・地域外からの人も施設に来てもらいたい。
- ・レンタサイクル
- ・国際交流の場（峰山にはある）
- ・研修用宿泊施設
- ・観光拠点

■管理・運営について

- ・管理する人は必要
- ・民間が運営した方が良い
- ・役所が設置？ 民間の可能性は低いのでは
→民間の可能性として、コインランドリー
- ・待ち時間でコミュニケーションが生まれる
- ・利用者以外で関わるとしたら収益性が大切
- ・周辺施設にホールを追加。新しい施設には不費

■その他・課題

- ・バス交通の拠点。（車を運転できなくなる高齢者が増える）
- ・介護ククシー、移動サービス、福祉拠点が欲しい
→収益で行政補助
- ・雨風が除けられる大屋根は良い。愛称として「コフーン」
→大屋根でなくても、建物の庇で十分では
- ・木工教室のイメージがわからない
- ・「峰山にあるから、網野にはいない」では網野に何もなくなってしまう。施設は必要
- ・一気に大きな施設整備ではなく、徐々に時代や意見に合わせた施設整備
- ・20年後の人口考えた計画
- ・周辺にない必要なものを作るべき
- ・学校・統廃合になった教室等を利用した方が良い
- ・無理にお金は使わない方が良い
- ・役場が業者に丸投げするような設備は必要ない

- 第2回ワークショップ
- 【テーマ1】 どのような施設、場所があれば良い？
- 【テーマ2】 テーマ1で考えた施設でどのような関わり方をしたい？

■子育て・遊び

- ・子どものサードプレイス、放課後遊べる場所
- ・子どもが遊べ、母親同士が交流できる場所
- ・いつも綺麗な芝生や砂場
- ・創造的な活動がある

■貸室、コミュニティセンター機能

- ・アミティより安く貸室利用がしたい
- ・網野に文化活動ができる場所がない、したい（ダンス、音楽、合唱、太極拳、油絵など）
- ・フリースクール、文化講習ができる教室、スタジオ
- ・少しの待合い場所、集いの場

■地域拠点、観光拠点

- ・網野の魅力、歴史文化を発信する場所がない
- ・地域外から来てもらうきっかけが必要
- ・レンタサイクル
- ・国際交流の拠点がほしい（峰山にはある）
- ・研修用宿泊施設
- ・観光拠点となる施設
- ・手織の工房で体験できると良い
- ・地域の人が集えるコインランドリーも良い

■飲食・購買

- ・カフェはいらない／カフェがあると嬉しい
- ・大屋根を設け屋台が常設であるとよい
- ・屋台や自販機程度でよい
- ・カニや魚の販売

■周辺施設との連携

- ・周辺に既にある施設と同じようなものは良くない
- ・スポーツ関連は体育館に集約できる
- ・バーや灯籠屋が立地し最近の面白い動きを活かす
- ・新しい網野らしさの発掘
- ・ショップはアミティにある
- ・旧幼稚園の活用として託児所や宅老所
- ・網野神社の児童遊園地、愛宕山を利用
- ・周辺施設（幼稚園、神社、体育館、温泉など）ないものがあるとよい

■新しい施設でしたい・欲しい

- ・大きい屋根（日除け・雨よけ）
- ・網野は風が強いので防風となる建物
- ・「にぎわい」の意味で電気の灯った施設
- ・芝生広場はあったら良い
- ・美術館のようなものはいらない
- ・サウナは市内の温泉を利用すればよい
- ・サーフィンやSUP向けの施設はいらない

■管理運営

- ・民間が運営した方がよい
- ・役所が設置となるのか、民間の可能性は低い
- ・利用者以外で関わるとしたら収益性が大切
- ・周辺施設にホールを追加、新しい施設には不要

■その他

- ・バス交通拠点（運転できない高齢者が増える）
- ・介護タクシー、移動サービス、福祉拠点
→収益で行政補助
- ・雨よけできる大屋根、愛称として「コフーン」
- ・木工教室のイメージが湧かない
- ・「峰山にあるから網野にはいない」では網野に何もなくなってしまう
- ・20年後の人口を考えた計画
- ・統廃合になった学校の教室など利用できる
- ・無理にお金を使う必要はない
- ・役場が業者に丸投げするような施設は不要
- ・時代に合わせた施設整備
必要なものを少しずつ整備できるとよい

■その他ご意見

- ・テニスコートが壊れているのでつくってほしい
- ・良くなる想像がつかない（古墳…誰もみない、芝生…手入れが行き届かない、カフェ…高いのでは、ガーデン…犬のフンだらけになる）
- ・体育館ではできない屋内スポーツ施設（屋内テニス、屋内ハーフパイプ、屋内スケボー、屋内サーフィンなど）があると全国から客が来る

●ワークショップ及びポスター展の結果を踏まえたテーマ別のニーズ整理

テーマ	ニーズ
どんな人に網野に来て欲しい？	・ 網野の地域住民が第一、子どもや学生が集まれる場所にしていく ・ 地域外の人にも立ち寄れる場所にしていく
網野にはどんな個性やポテンシャルがある？	・ 銚子山古墳が地域の歴史遺産となっており、一体的に活かしていく ・ 豊かな海や様々な地域資源、地域の活動があるため、これらを活かしていく
ポテンシャルをどう活かすと、網野地域が活性化する？	・ 地域の伝統産業や新たな工房などの技術と職人の集積を活かしていく ・ 周辺施設との連携や人的な資源のネットワーク化などを行い、地域全体で活性化を図っていく
持続的に施設が活用されるためには、どんなコンテンツが必要？	・ バス交通拠点機能を確保し、移動円滑化を図っていく ・ 季節を問わず、子どもや学生が集まれ、地域外からも人が来れる遊戯・運動機能の導入を図っていく ・ 地域や地域外の人々が文化活動を行なえ、コミュニケーションが促進される機能の導入を図っていく
どうやって長く関わっていききたい？	・ 施設運営は、民間事業者の導入 ・ 施設の維持管理やイベントなどへの積極的な参加

＜施設機能の導入検討＞

機能	諸室		諸室概要
コミュニティ機能	ロビー（交流、コワーキング、観光発信）		ロビーは施設入口の機能に加え、誰でも気軽に立ち寄れるオープンなスペース。Wi-Fiを備え、自由利用が可能な交流拠点。壁面などを利用して観光案内のコーナーを配置
	子育て交流スペース		子育て世代が集い、交流・コミュニケーションができる部屋を配置
	レンタルスペース（集会室）		可動間仕切壁により分割が可能で、集会、ダンスや音楽会など多目的な利用ができる部屋を配置
	防音室		音楽を演奏したり、音を出すような活動を個人やグループでできる防音された部屋を配置
	カフェ		地域住民が憩い、集える場所としてカフェスペースを設置
集客機能	例①	遊戯広場	木工おもちゃなど木育ができ、子どもが屋内で遊戯・運動ができる空間を配置
		企画展示室	伝統工芸や地域資源に関することをテーマにして、国内外も含めた文化、芸術、木工などの展示を行う空間を配置
		ミュージアムショップ	木工おもちゃ、地域の玩具や伝統工芸品など地域風土に根差した物品の販売を行う場所を配置
		工房	子どもや大人も、DIYや伝統工芸などを楽しめるように工作機械を利用できる部屋を配置
		研修室	事業者が講義や団体受入れなど、多目的に利用する部屋
	例②	スタジオ	ダンス、エクササイズなど運動もでき、運動を通じた交流や繋がりを図る部屋として配置
		ボルダリングルーム	子どもから大人まで一緒になって楽しめ、体幹の向上や登りきる達成感が経験できる場所を配置
		屋外広場 (フィットネス空間)	屋外において、木陰の空間を構成することで、屋内では体験できない開放感のある運動を行える場を配置
屋外附帯機能	デッキ（みんなの縁側）		広場に面して、縁側のようなデッキを配置し、普段はみんなの憩いの場となり、イベント時はステージなど多様な利用ができるように配置
	駐車場・駐輪場		駐車場は、バス路線の停留所としても機能するように配置することで、交通結節点の機能を担う また、駐車場、駐輪場は、隣接する公共施設との一体的な利用を想定して配置